

大分合同新聞

ワークシート

中津市の少年少女国連大使

年 組 名前

- ① 「国連」「ユニセフ」はそれぞれ、略語です。何の略か答えましょう。

国連

(国際連合)

ユニセフ

(国連児童基金)

- ② 松本さんがニューヨークで学び、話し合ったことを記事の4段落目から読み取り、簡潔にまとめましょう。

世界の貧困の状況や、子ども食堂や教育のための施設を募金で建設する取り組みなど。

- ③ 海外に行ったことがある人に、もし自分ならどんなことを聞いてみたいですか。考えてみましょう。

多岐にわたるため省略します



少年少女国連大使の松本和奏さん

国連本部での研修成果を報告する豊陽中3年の松本和奏さん

貧困に悩む人の多さ実感

中津市長に成果報告

日本青年会議所が主催する本年度「JCI JAPAN少年少女国連大使」で、7月末に米ニューヨークの国連本部での研修(5日間)に参加した中津市豊陽中学校3年の松本和奏さん(15)が奥塚正典市長に成果を報告した。

大使は全国の小学5年

中学3年の30人。昨年の国連総会で採択された「持続可能な開発目標」について国連職員からレクチャーを受け、国際社会が抱える問題を学習。グループに分かれて解決策を検討し、最後に意見発表をした。

ユニセフ本部訪問や、現地の子どもたちとのレクリエーションも楽しんだ。

松本さんは「九州から貧困をなくす」と名付けたチームに入って世界の貧困の状況を学び、募金袋になるチラシを作る解決策や、集めた募金で子ども食堂や教育のための施設を建設する取り組みなどを話し合った。

奥塚市長に「苦しんでいる人が世界中にいることをあらためて学べた。広く知ってもらおう努力をしたい」と報告。奥塚市長は「いい経験をした。今後、この経験を生かして頑張っ

た。10月にかけて啓発活動を行い、今月末に県庁、10月初めに同校で報告会を開く。

(2016年9月17日付朝刊県北面)